

当事者共生事業 “ななかまど Project” 報告

担当者: 秋山 満

●概要:

HIV 陽性者とその家族・パートナー・周囲の人の精神的な支えとなり、地域に根ざした情報を提供していくことを目的に

○HIV 陽性者のための面談ルーム 「くれば一緒に」 を実施している。

また、北海道 HIV 陽性者ピアグループミーティング事業「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」を 2014 年 6 月より定期開催。

※2022 年度も日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をいただいた。

●目的:

北海道に暮らす HIV 陽性者が「今よりもっと元気になるために必要としていること」を共に考え、形にしていく。

●経過:

- ・ 「くれば一緒に」 予約制 毎月第 2・第 4 日曜日 13:00-15:00
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 2022 年度は地方開催実施を計画
 - ＜札幌開催＞ 2022 年 4 月 16 日(土)・8 月 20 日(土)・12 月 17 日(土)
 - ＜地方開催＞ 6 月 18 日(土):函館 10 月 15 日(土):帯広 2023 年 2 月 18 日(土):旭川

●結果・効果:

- ・ 2022 年度において「くれば一緒に」の利用は無かった。
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 2022 年度の参加延べ人数は 20 名。(昨年度は全 3 回で 24 名)
 - ＜札幌開催＞8 月 20 日(土)は新型コロナ感染拡大の影響により開催中止
 - 4 月 16 日(土)は 7 名、12 月 17 日(土)は 8 名の参加があった。
 - ＜地方開催＞6 月 18 日(土):函館開催は 5 名の参加があったが、10 月 15 日(土):帯広開催は 1 名、2023 年 2 月 18 日(土):旭川開催は申込がなく、帯広・旭川開催については中止とした。

●課題:

- ・ 札幌へのアクセスが難しく、支援の届かない陽性者へ新たなアプローチとして、2022 年度の「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」は長年検討していた地方開催をはじめて実施した。
- ・ しかしコロナ禍ということもあるが、地方開催における参加申込は不調に終わった。全国の交流会を実施する他団体からは、地域によっては未だ陽性者交流会に対し否定的に捉えている拠点病院があるとの情報もあり、広報はもちろんのこと、道内各地の拠点病院とのコミュニケーションについても行う必要があると感じる。
- ・ リピーターの方の中には毎回の交流会を楽しみにしているとの声もあり、陽性のことを気にせず話せる機会として役に立っている。
- ・ 一方、新規の方へのフォローが弱かった。身内同士の近況報告ばかりとならない工夫は必要。
- ・ 新規の方がいる際は、医療情報など真面目な情報交換も一定程度設けるべきかもしれない。
- ・ HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO については 2023 年度も、日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をご了承いただいている。
- ・ 「くれば一緒に」の利用についてはここ数年ゼロの状態が続いている。事前予約をした上で対面での相談というハードルもあるため、今後は zoom などの web コミュニケーションツールを活用したオンライン相談や、事前に日時を定めて実施するオンライン相談会についても検討をしていきたい。